

保証とアフターサービス (よくお読みください)

点検方法

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのとあて保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体充電器6ヶ月間
(ただし、ビット・電池パック・ケースは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

修理を依頼されるとき

20〜23ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製 品 名	充電マルチインパクトドライバー	お買い上げ日	年 月 日
品 番	EZ7542(LN2S・X)	故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時〜20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎06-6906-1090 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス(株)
札幌 ☎011-261-6401 名古屋 ☎052-551-7900
東京 ☎03-5392-7190 福岡 ☎092-622-0531

●保証期間中は 保証書の規程に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは 修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み 修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

ご注意 ・☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0608

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い 松下電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報をご適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

松下電工株式会社 パワーツール事業部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

National

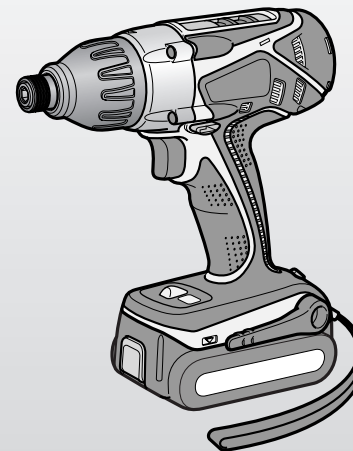
保証書別添付

保管用

充電マルチインパクトドライバー

品番 EZ7542LN2S・EZ7542X

取扱説明書



《プロ用》

- このたびは、ナショナル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(2〜5ページ)は、必ずお読みください。
- 大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年	月	日
販売店名	☎ () -		

EZ901075422 S No.2

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 — 2〜5

各部のなまえ — 6

付属品・別売品 — 7

使いかた

充電のしかた — 8〜9

使いかた — 10〜15

お手入れ・保管

お手入れ・保管 — 15

お知らせ

電池パックについて — 16

締付トルクに — 17
ついて

能力 — 18〜19

仕様 — 19

点検方法

故障かな?と — 20〜23
思ったとき

保証と — 裏表紙
アフターサービス

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

安全作業のために：

- 1 専用の充電器や電池パックを使用してください。**
 - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
 - この取扱説明書に記載している電池パック以外は充電しないでください。
- 2 正しく充電してください。**
 - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - 直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - 温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
 - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
 - 電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠警告

- 3 電池パックの端子間を短絡させないでください。**
 - 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 4 感電に注意してください。**
 - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 5 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
- 6 保護めがねを使用してください。**
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。
 - また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠警告

- 7 防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
- 8 加工するものをしっかりと固定してください。**
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
 - 手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- 9 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
- 10 不意な始動は避けてください。**
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
- 11 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
- 12 電池パックを火中に投入しないでください。**
- 13 電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。**
- 14 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。**

⚠注意

- 1 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2 子供を近づけないでください。**
 - 作業以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - 作業以外、作業場へ近づけないでください。
- 3 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
- 4 無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。
- 5 作業に合った充電工具を使用してください。**
 - 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- 6 きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 注意

- 7** 充電工具は、注意深く手入れしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- 8** 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- 9** 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。
- 10** 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。
- 11** 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 注意

- 12** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
- 13** 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。
- 14** 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - 充電工具が熱くなったり、異常に気付いたときは点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない人が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電マルチインパクトドライバーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。
けがのおそれがあります。
- 本体落下防止のため、吊りひもに手を通してお使いください。
また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。
- 使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
けがのおそれがあります。
- 2パック以上の連続使用はしないでください。
本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。
- 密閉された狭い場所で使用しないでください。
発煙、発火、破裂などのおそれがあります。
- 屋外で充電中のとき、雷が鳴り始めたら使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 先端工具類（ビットなど）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないと外れたりし、けがのおそれがあります。
- 使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。
- 作業直後に電池端子や作業に使用した先端工具類（ビットなど）ネジ・切りくずには高温になっているので触れないでください。
やけどのおそれがあります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
飛散して、けがのおそれがあります。
- インパクトで作業するときは、金属の穴あけには使用しないでください。
ドリルの刃で、けがのおそれがあります。
- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないように使用してください。
熱風によるやけどのおそれがあります。

本体

クラッチハンドル

インパクト/ドリルドライバー切替スイッチ

風穴

正逆切替スイッチ

P12参照

ビットホルダー

P11参照

スイッチ

P12参照

LEDライト

P15参照

操作パネル

電池切れお知らせランプ

P10参照

LEDライト

吊りひも

引掛フック

P14参照

位置合わせマーク

高温異常お知らせランプ

P10参照

電池パック

(EZ7542Xには
付属していません)

位置合わせマーク

パックカバー

フック

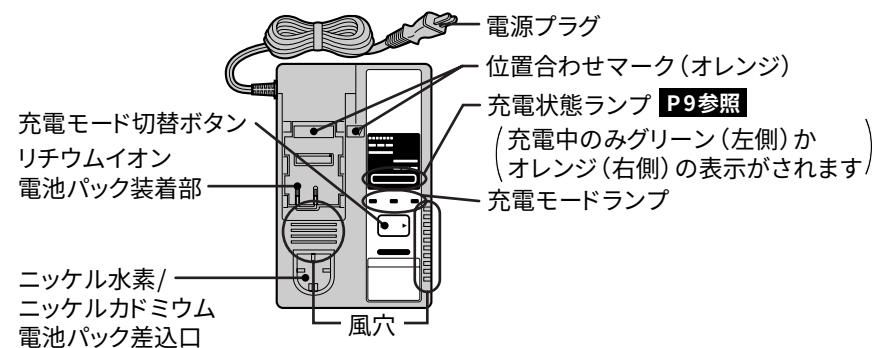
風穴

〈裏面〉

付属品・別売品

商 品	付属品		別売品の有無
	EZ7542LN2S	EZ7542X	
両頭プラスビット #2 $\pm$ 65mm	○ 1本入	○ 1本入	○ EZ9BP221 2本組
両頭プラスビット #2 $\pm$ 150mm	—	—	○ EZ9826 2本組
充電器	○	—	○ EZ0L80
電池パック	○ 2個入	—	○ EZ9L40
パックカバー	○ 2個入	—	— 別売品なし
ケース	○	—	○ EZ9633
ビットピース	—	—	○ EZ574B7817
深さアジャスター	—	—	○ EZ9770
ソケットアダプター □12.7ボール付 ※その他各種ソケットアダプターを用意いたしております。	—	—	○ EZ9HX100
ドリルチャック φ1.5～10mm チャックハンドル付 ※木工穴あけ専用	—	—	○ EZ9780

充電器 P8参照 (EZ7542Xには付属していません)



警告

- 雨中では使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。発煙・発火のおそれがあります。

お知らせ

- 充電器は冷却ファンで電池を冷やしながら充電します。電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風を始め、充電が完了すると送風量が少なくなります。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。

裏表紙参照

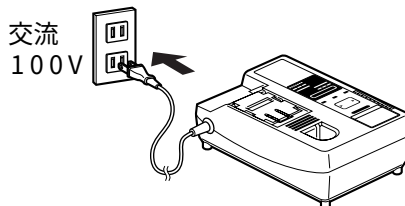
お願い

- 0～40℃の場所で充電してください。
〈気温が0℃以下の場合〉
・寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックは正常に充電できません（特にリチウムイオン電池の場合フル充電完了しても通常の約50％程度の充電となります）。このときは電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
- 〈気温が40℃以上の場合〉
・直射日光、夏期のアスファルトの上など周囲温度が高い場所で充電しても電池パックの温度が45℃以下にならないと電池保護のため充電を開始しないことがあります。
- 電池パックや充電器の風穴をふさがないでください。
- 2パック連続で充電したときは、充電器のご使用を約30分休止し、充電器を十分放熱させてからご使用ください。
- 充電器のニッケル水素/ニッケルカドミウム電池パック差込口に手を入れないでください。端子の変形や故障の原因となります。

リチウムイオン電池パックの場合 (電池パック:EZ9L40の場合)

1 コンセントに電源プラグを差し込む

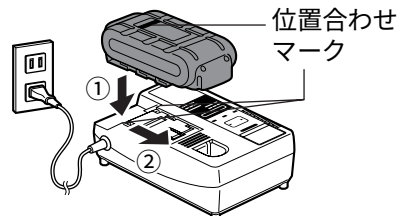
- 充電モードランプのうち、いずれか1つが点灯します。



- お買い求めのときはフル充電されています。ご使用前に必ず充電してください。

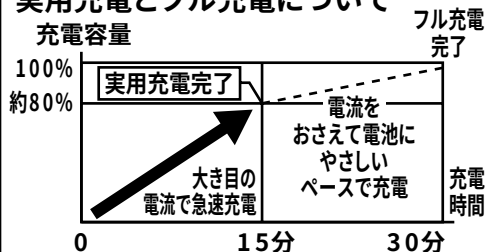
2 電池パックを充電器に装着する

- ① 位置合わせマークを合わせて差し込む
- ② 底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプは「急速」が点灯します。（リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。切り替えはできません。）
- 充電状態ランプが充電状態を表示します。P9参照

実用充電とフル充電について



3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電状態ランプの見かた P7参照

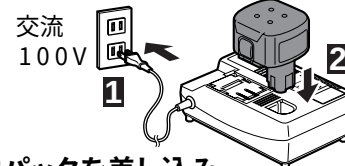
充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
点灯	点灯	充電中
遅い点滅	点灯	実用充電完了（リチウムイオン電池のみ）
遅い点滅	点灯	フル充電完了
遅い点滅	点灯	電池保護 充電中
遅い点滅	遅い点滅	冷却待機中
遅い点滅	遅い点滅	充電不可

ニッケル水素電池やニッケルカドミウム電池の場合

- お買い求め時は、電池パックの活性化のため必ずリフレッシュ充電をしてください。

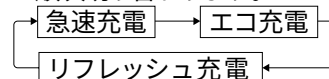
1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのうち、いずれか1つが点灯します。



2 電池パックを差し込み 約30秒以内に充電モードを選ぶ

- メーカー出荷時、充電モードは急速充電に設定されています。
- 充電モード切替ボタンを押すと順次切り替わります。



- 充電モードは電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に確定（記憶）※されます。確定後、充電モードを切り替える場合は、電池パックを一度抜き差ししてください。
- 充電モードを選ばないと前回の充電モードで充電されます。（リフレッシュ充電を除く）

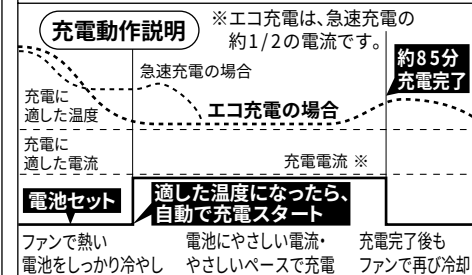
※リフレッシュ充電を選択した場合や充電モード確定前に電源プラグを抜いた場合は記憶されません。

3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電モードについて

充電モード	充電時間
エコ充電	電池にやさしく ゆっくり充電 約45分～約85分 (EZ9200の場合)
急速充電	電流を制御しながら 短時間で充電 約22分 (EZ9200の場合)
リフレッシュ 充電	P16参照 約12時間 以内

エコ充電とは



準備中のご注意



警告

- ビットや付属品の取り付け・取りはずしは、必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずしてください。急に動き出し事故のおそれがあります。

作業中に、正逆切替スイッチやインパクト/ドリルドライバー切替スイッチの操作をされる場合はモータが停止してから行ってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因となります。

作業中のご注意



警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。けがのおそれがあります。
- 本体落下防止のため、吊りひもに手を通してお使いください。また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。



警告

- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないように使用してください。熱風によるやけどのおそれがあります。

- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは操作パネルの表示などに誤動作の可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

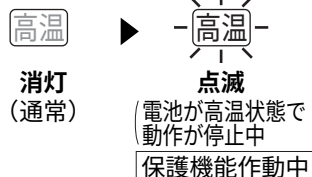
〈リチウムイオン電池について〉

リチウムイオン電池を長く使っていただくため、電池パック内に温度監視センサーを搭載しております。

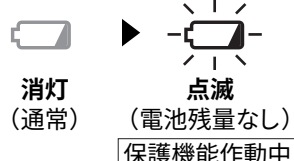
電池パック保護のため、以下の点に注意して作業を行ってください。

- 電池パックが高温になると保護機能が働き動作が停止します。操作パネル内の高温異常お知らせランプが点滅します。
 - ・φ21mmの金工ホルソーでの穴あけ等高負荷作業を連続で行なった場合は、電池パックが高温になり、温度監視センサーにより保護機能が働きます。保護機能が働いた場合、十分に放熱させてください(約30分以上)。高温異常お知らせランプが消灯し、通常の作業ができます。
 - ・保護機能が繰り返し働くような作業はさけてください。

〈高温異常お知らせランプ〉



〈電池切れお知らせランプ〉

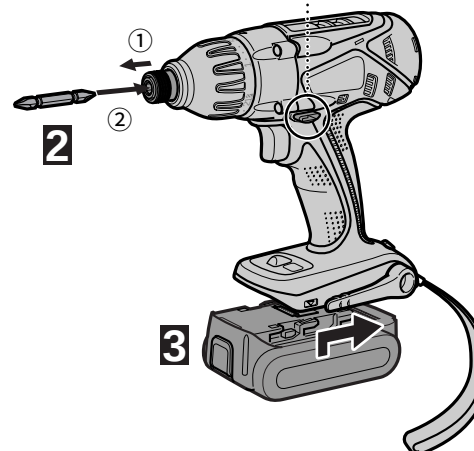
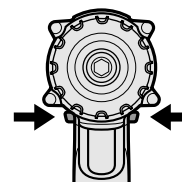


- 電池残量がなくなるとランプが点滅します。
- ランプが点滅したときは、すぐに電池パックを充電してください。

リチウム電池は過放電状態になる(カラまで使う)と電池の寿命が大幅に劣化します。過放電防止のため、電池を保護する機能を搭載しております。

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

1 中央 スイッチロックの位置



2 ビットを取り付ける

- ① ビットホルダーを引っ張りながら
- ② ビットを差し込む
 - 軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。
 - 商品の構造上、若干のガタツキがありますが、異常ではありません。

3 電池パックを取り付ける

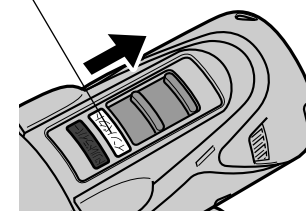
- 電池パックが本体に固定されるまで差し込んでください。

インパクトドライバーで作業する場合

4 インパクト/ドリルドライバー切替スイッチで **インパクト** を選ぶ

- インパクト/ドリルドライバーの切替操作は回転停止状態で行ってください。回転中に行うと故障の原因となります。

インパクト 表示が銀色になります。



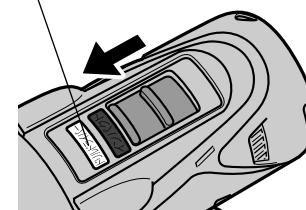
P12手順 **6** へ

ドリルドライバーで作業する場合

4 インパクト/ドリルドライバー切替スイッチで **ドリルドライバー** を選ぶ

- インパクト/ドリルドライバーの切替操作は回転停止状態で行ってください。回転中に行うと故障の原因となります。

ドリルドライバー 表示が銀色になります。

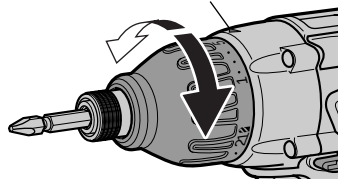


ドリルドライバーで作業する場合

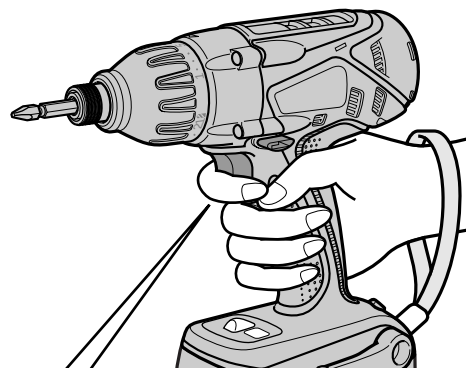
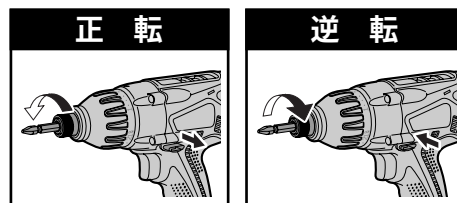
5 トルクを選ぶ

- 作業に応じて約0.2N・m（約2kgf・cm）きざみで21段階に調整できます。
- 使用前に必ずおためしください。
- モータが止まるような無理な使いかたはしないでください。

目盛合わせ位置



6 正逆切替スイッチで正転/逆転を決めてスイッチを入れる



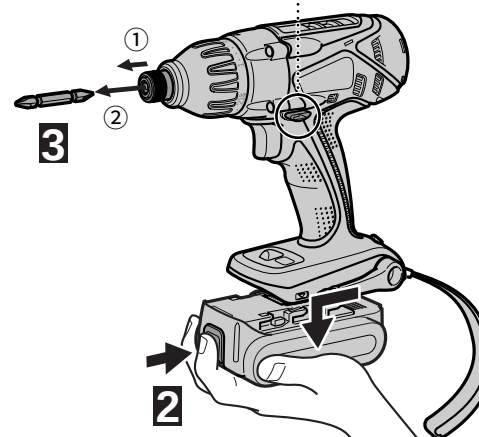
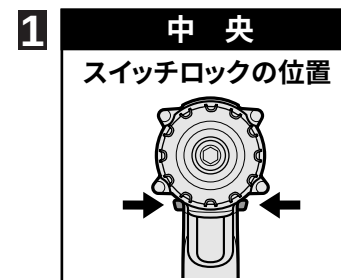
- スイッチを引き込むに従って回転数が上がる。（センター決めときは、ゆっくりスタートする）
- スイッチをはなす（スイッチ切）とブレーキが作動。

- 正逆切替スイッチの操作はモータが停止してから行ってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

トルク選定目安

目盛	トルク	作業の目安
1	約0.7N・m（約7kgf・cm）	●小ネジの締付 ●柔かい天井材やベニヤ板などのネジ締付 ●端子ネジの締付
6	約1.5N・m（約15kgf・cm）	
11	約2.5N・m（約25kgf・cm）	
16	約3.4N・m（約35kgf・cm）	●かたい木材へのネジの締付など
21	約4.4N・m（約45kgf・cm）	
	約14.0N・m（約143kgf・cm）	●強力なネジ締め ●ドリル使用

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



2 フックを押しながら電池パックを抜く

- 電池パックを本体から取りはずしたら電池端子部分への塵・埃の付着や短絡防止のため、すみやかにパックカバーを取り付けてください。



3 ビットをはずす

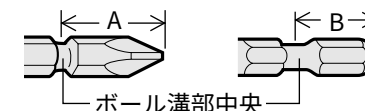
- ①ビットホルダーを引っ張りながら
- ②ビットを抜く

お願い

- 本体を雨や水のかかるところや湿気の多いところに置いたり、保管したりしないでください。

ビットピース（別売）について

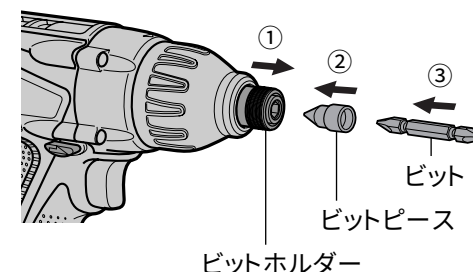
- ビットピースを使用すると、くわえ口サイズの異なるビットが装着できます。
- 下図の長さA・Bでビットピースの要/不要を判別します。



A=16mm・B=13mm	▶ビットピース不要
A=11mm・B=9mmの市販のビット・ソケット	▶別売品のビットピースを併用

- ※B=11.5mmのものは使用できません。
- ※ボール溝部のないストレートのビットは使用できません。（使用中にビットが抜けたり、取り外しが固くなることがあります。）

ビットピースの取り付けかた



警告

- 引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定してください。
フックの取り付けが不完全なまま使用すると、事故のおそれがあります。
定期的に止めネジの緩みを確認し緩んでいたら締め直してください。
- 引掛フックご使用のときは、本体の落下に十分注意してください。
引掛フックは本体を確実に固定するものではありません。本体が落下し、事故のおそれがあります。
- 引掛フックご使用のときは、飛んではねたりしないでください。
- 引掛フックはフックの角度が変わらないことを確認してからご使用ください。
- 引掛フックご使用中は、引掛フックロック解除レバーを操作しないでください。
フックが抜けて本体が落下し、事故のおそれがあります。
- 引掛フックを使用しないときは、収納位置に戻してください。
引掛フックが不意に引っかかり、事故のおそれがあります。

注意

- 引掛フックを使って本体を腰ベルトに引っ掛けるときは、ドライバービット以外は取り付けしないでください。
ドリルビットなどの先端がとがったものを取り付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。

- ① 引掛フックロック解除レバーを矢印方向にスライドさせながら
- ② 引掛フックを上げる
- ③ 図の位置で引掛フックロック解除レバーを離し、カチッと音がしてレバーが元の位置に戻っていることをご確認ください。
- ④ 引掛フックが固定されているかご確認ください。
●Aの位置で確実に固定してご使用ください。
●Bの範囲では使用しないでください。

収納位置

■収納位置に戻すときは…

- ①を行ない、引掛フックをカチッと音をするまで下げる。

引掛フックの左右の付け替え



引掛フックは、左右どちらでも取り付け可能。

- ① 引掛フックを収納位置に戻す。※
- ② メダル形状のものを使用して止めネジをはずす。
ゆるむ
- ③ 引掛フックを反対側に取り付け、止めネジをメダル形状のもので最後までしっかりと締め付ける。
しめる
止めネジ
引掛フック

※引掛フックは収納位置に戻さないと、付け替えができません。

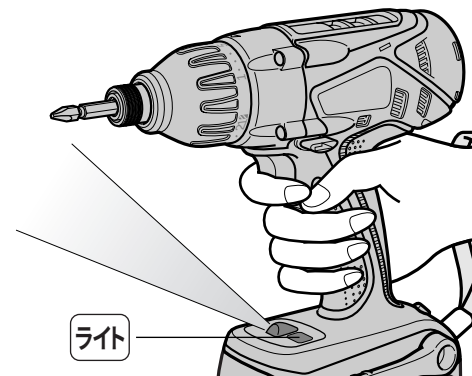
奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

注意

- LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。
- 十分な明るさを確保していないのでこのライトを使って暗い場所を移動しないでください。
事故のおそれがあります。
- ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

1 ライトを押すたびにライトが点灯/消灯する

- パックを取り付けた直後は、1度本体を動作させるとライトが点灯します。



ライト

- ライト点灯中に、何もしない状態が約5分経過すると、自動的に消灯します。
- ライトは微小電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。

電池パック取付直後やLEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作しない状態で放置すると自動的に電源がOFFの状態になります。スイッチを引き込んで、一度動作させてください。

お手入れのしかた

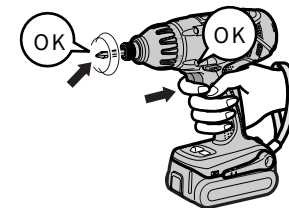
やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)



定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが損傷していないか定期的に点検してください。



充電器の電池パック差込口内部のゴミを取り除く

ゴミが原因で充電不可になるのを防ぐため。

保管のしかた

保管は適切な場所で

事故や故障を防ぐため。



ガスリン



警告

- 電池パックを火中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずにそのまま保管してください。
- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは電池パックの寿命です。新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際は、お買い求めの販売店へお返しください。（電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。）



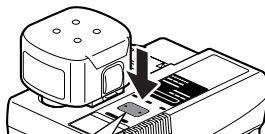
※EZ7542Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

リフレッシュ充電のお願い

（ニッケル水素、ニカド電池の場合）

- お買い求めのとき。
- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 使用後、充電して保管したが、2ヵ月以上放置した電池を使用するとき。

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。



▶切替▶ を押してリフレッシュ充電を選ぶ。（リフレッシュがグリーン点灯）

12時間以内にリフレッシュ充電完了。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

お願い

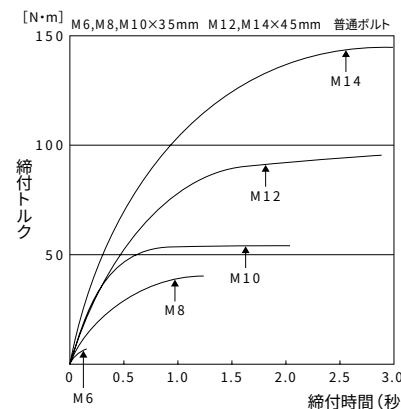
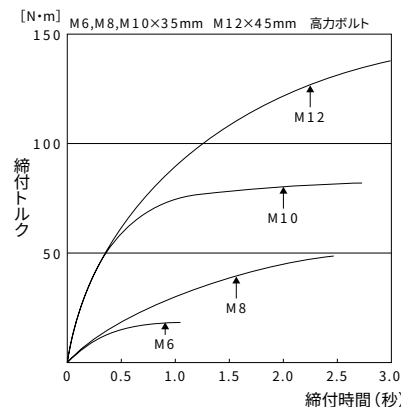
- 一部のニッケルカドミウム電池パック（EZ9180/EZ9181/EZ9080）とリチウムイオン電池パックを同時に装着した場合どちらも充電されません。両方の電池パックを一旦はずして、再度一方の電池を装着してください。

本製品の使用電池

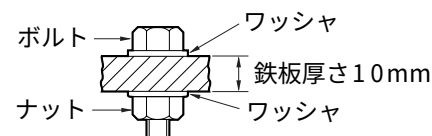
- 名称:密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧:3.6V/1個
- 数量:4個

ボルトの適正締付力はボルトの材質やサイズ、締付物の材質によって異なりますので、ボルトに合った設定値で作業してください。下表は参考値です。（締付条件により変化します）

ボルトの締め条件



締付条件



※ボルトは下記を使用しています。
普通ボルト：強度区分 4.8
高力ボルト：強度区分 12.9

強度区分の説明

4.8

- ボルトの降伏点（引張強さの80%）
341N/mm² (32Ff/mm²)
- ボルトの引張強さ 392N/mm² (40Ff/mm²)

※締付トルクは電池パックの充電状態により変化します。P18参照

締付トルクに影響する要因

1) 締付時間

時間を長くすると締付トルクも増加します。ただし、長時間締めてもある値以上は増加しません。また、ボルトが折れることがありますのでご注意ください。

2) ボルトの径が異なる場合

径が変わると締付トルクも変わります。一般に大きなボルト径ほど高くなります。

3) 締付状態により

- 同じボルトでも、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示）、等級、長さによって締付トルクは変化します。
- 締付物（鉄骨など）の座面仕上がり、締付物同士の状態によっても変化します。
- ボルトとナットが共回りすると大幅に締付トルクは低下します。

4) 市販ビットの使用

市販のビットで全長の長いもの、材質強度の弱いものは締付トルクが減少する場合があります。

5) ソケットのガタ

- ソケットの六角部が摩耗してガタが大きくなると締付トルクは低下します。
- ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないと締付トルクは低下します。

6) スイッチ（スピコンスイッチ）

引き込みきらない状態（フルパワーでない状態）で使用すると締付トルクは低下します。

7) 接続アダプターの影響

ユニバーサルジョイントやソケットアダプターを介して使用すると締付トルクは低下する場合があります。

1回のフル充電による使用能力・周囲温度20℃

※数値は目安です。電池パック性能の経時変化、ドリルの切れ味、相手材の硬さなどにより変わります。また、締付本数は締付時間が長くなると少なくなり、短くなると増えます。

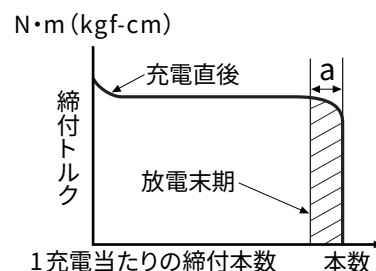
インパクトドライバー作業時

適用	木ネジ	φ3.5~φ9.5	普通ボルト	M6~M14
用途	テクスネジ	φ3~φ6	高力ボルト	M6~M12

最大締付トルク	最大140N・m (1,430kgf-cm)
---------	------------------------

締付トルクは電池パックの充電状態により変化します。右図は締付トルクと締付本数の関係を示した例です。

放電末期(図中a範囲)になると、打撃力は弱く、打撃数は少なくなり、急激に締付トルクが低下します。早めに電池パックの充電を行ってください。



①ネジ締付本数

	ネジ寸法	材 料	締付本数
木ネジ	φ4.1×38mm	米 松	約390本
	φ4.2×75mm		約220本
テクスネジ	φ 4×13mm	冷間圧延鋼板 (SPC厚み1.6mm)	約450本
		冷間圧延鋼板 (SPC厚み2.3mm)	約300本

②ボルト締付本数(適正締付トルクまで締め付けた時の作業本数)

使用ボルト	M12 (高力ボルト)	材料	鉄板(厚み10mm)	締付本数	約150本
-------	-------------	----	------------	------	-------

ドリルドライバー作業時

適用	小ネジ	M4~M6	木工ドリル	φ3~φ21※1	テ ク ス	φ3~φ6
用途	木ネジ	φ2.1~φ6.2	金工ドリル	φ1.5~φ10※1	ホールソー	最大φ21※1

※1松下電工専用ドリルチャック(EZ9780)使用

ドリルの穴あけ数

	ドリル径	材 料	板 厚	穴あけ数
木工用	※1 φ15mm	米 松	20mm	約300孔
金工用	※1 φ4.5mm	冷間圧延鋼板 (SPC)	1.0mm	約570孔
	※1 φ6.5mm		1.6mm	約150孔
	※1 φ21mm (ホールソー)			約 25孔

※1松下電工専用ドリルチャック(EZ9780)使用

仕様

本体

モータ電圧	DC14.4V	大 き さ (概略寸法)	全長 全高 ※幅 193×221×Φ61 (mm) ※電池パック最大幅75mm
質量(重量)	約1.65kg (電池パック含む)		
回 転 数	インパクト使用時	約0～2,350回転/分	
	ドリルドライバー使用時	約0～700回転/分	
インパクト使用時打撃数		約0～3,300回転/分	

充電器 (EZ0L80)

電 源	AC100V 50/60Hz	消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg
-----	----------------	------	-------	--------	---------

充電可能な電池パック ※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
※エコ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。

電池パックの種類	材料	リチウムイオン電池			ニッケル水素電池				ニッケルカドミウム電池		
	容量	3Ah	2Ah	3Ah	1.2Ah	1.7Ah	2Ah		1.2Ah	1.7Ah	2Ah
	タイプ	LN	H	N	C	D	E	F	V		
電池電圧	14.4V	EZ9L40	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	充電時間	約15分	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	実用フル	約30分	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7.2V	—	EZ9168	—	EZ9066	EZ9065 EZ9061	EZ9165	—	—	—	—
	9.6V	—	EZ9188	—	EZ9086	EZ9080	—	EZ9186	EZ9187	—	—
	12V	—	EZ9108	EZ9200	EZ9006	EZ9001	EZ9101	EZ9106	EZ9107	—	—
	急速充電	—	約15分	約22分	—	約9分	約12分	約15分	—	—	—
	エコ充電	—	約30~70分	約45~85分	—	約20~60分	約25~65分	約30~70分	—	—	—
	15.6V	—	—	EZ9230	—	—	—	EZ9136	EZ9137	—	—
	急速充電	—	—	約27分	—	—	—	約16分	—	—	—
	エコ充電	—	—	約45~85分	—	—	—	約30~70分	—	—	—
	24V	—	—	EZ9210	—	—	—	EZ9116	EZ9117	—	—
	急速充電	—	—	約30分	—	—	—	約20分	—	—	—
	エコ充電	—	—	約45~85分	—	—	—	約30~70分	—	—	—

※EZ9061は中間アダプターEZ0890(別売品)が必要です。

※表には、販売中の電池パックと販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電ランプ(グリーン)が点灯する。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。
	充電中に冷却待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)
作 業 時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(高温異常/電池切れお知らせランプが点滅)
	電池パックが高温になり保護機能が働いている。
	電池パックを充電していない。
	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。
	LEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作していない。
	電池パック装着後、1回も作業していない。
	電池パックを充電していない。
	電池パックが故障している。
	フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。
	温度が低い場所(0℃以下)で保管した電池パックを使用した。
	操作パネルの表示が正しくない。
	高圧線の近くなど、電磁波の影響をうけている。
	スイッチを切ると、停止音がする。
	ブレーキの動作音です。
	ビット・ドリルなどの先端工具に消耗など不具合がある。
	電池パックの寿命。
	フル充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。
	冷えた電池(約0℃以下)を暖かい場所で充電した。

処 置
そのまま放置してください。しばらくすると、フル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
別のコンセントで充電するか、テレビ・ラジオから離して充電してください。
ゴミを取り除いてください。
気温が0~40℃の場所で充電してください。0~40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。冷めると自動的に充電を開始します。
作業を中断して十分放熱してください。
充電をしてください。 P8参照
ゴミを取り除いてください。
スイッチを引いてください。
充電をしてください。 P8参照
新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
再度充電し、充電完了になってからご使用ください。
故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。
故障ではありません。
新しい先端工具と交換してください。(P7参照 またはカタログをご覧ください。)
新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がった後で再度充電してください。

左記の点検をしてもなお異常がある

**ただちに
使用中止**
●本体、充電器と
電池パックをセットで
お買い上げの
販売店へお持ち
ください。

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因
作業時 ネジが締めきらない。 ネジを締めてもインパクト打撃しない	電池パックの寿命。 電池の残量が少なくなった。 電池パックを2ヵ月以上放置していた/または購入したばかりである。 インパクト/ドリルドライバー切替が正しく切替わっていない。
その他 - 電源プラグをコンセントに差し込んだとき「充電モード」ランプのいずれかが点灯しない。 - 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 - 充電開始直後に「充電モード」ランプも「充電状態」ランプも点灯・点滅しない。 「冷却待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 「充電中」(グリーン:点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 「リフレッシュ充電」を開始した後、13時間以上充電しても「充電状態」ランプが「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 - 操作パネル上のすべてのランプ表示が点滅し、スイッチを引いても動かない。	

処 置
▶ 新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
▶ 充電をしてください。 P8参照
▶ 充電を行なってください。 P8・16参照
▶ インパクト/ドリルドライバー切替スイッチをインパクト(後方面)に確実に入れてください。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
 ● 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。